

The 10th SAJ ALL JAPAN SNOWBOARD TECHNICAL CHAMPIONSHIP



第10回全日本スノーボード技術選手権大会

会期:2013年3月14(木)~17日(日)

会場: ルスツリゾートスキー場



真剣勝負 技術選

主催/財団法人全日本スキー連盟

後援/北海道

/留寿都村

/公益財団法人北海道スキー連盟

/加森観光株式会社

協力/ニセコスキー連盟

会場/ルスツリゾートスキー場

大会テーマ

地球温暖化を防止するためにわたしたちができること

~いつまでもウインタースポーツを楽しむために~

ルスツリゾート
—北海道

チャレンジ
25
未来が変わる
日本が変わる



※2012年度大会からヘルメット着用となりました



あいさつ

財団法人全日本スキー連盟
会長 鈴木 洋 一

第10回全日本スノーボード技術選手権大会が、北海道 ルスツリゾートで開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。

近年は、地球温暖化による異常気象、スノースポーツやレジャーの多様化等スキーを取り巻く環境は更に厳しいものとなっておりますが、このような時だからこそ関係者一丸となって一步一步前進し、基盤を築いて行かなければなりません。その意味で子供から中高年までのスノーボードの底辺拡大と育成に向けて常に発信源になってきたこの「全日本スノーボード技術選手権大会」の果たす役割はきわめて大きいと考えております。

本大会は、スノーボーダーの自由な表現から生まれるスノーボード技術の“巧さ”とその進化を競い合う大会です。

全国の厳しい予選を勝ち抜き、参加される選手の皆さんには、日頃培った力と技を遺憾なく発揮し、夢と希望、そして感動を与えられるような熱い戦いを繰り広げてくれることを期待しております。

おわりに、本大会の開催にあたりご尽力を賜りました全ての関係団体、諸機関、大会関係者の皆様に厚く御礼申し上げます、併せて本大会の成功を祈念し、あいさついたします。

第10回 全日本スノーボード技術選手権大会

◎大会役員

●大会長	鈴木 洋一	
●大会副会長	吉田 肇	
	坂本 祐之輔	
	加森 公人	
●大会顧問	菅 秀文	丸山 庄司
	齋藤 二郎	五十嶋 博文
	平川 仁彦	
●大会委員長	登山 一成	
●大会委員	増田 千春	山田 隆
	五十嵐 憲雄	矢船 保夫
	伊藤 義郎	吉田 英一
	小林 俊勝	上杉 尹宏
	松本 徹	三品 章男
	荒谷 信彦	今川 和雄
	三浦 義廣	

◎組織委員会

●組織委員長	登山 一成	
●副委員長	増田 千春	松本 徹
	加森 公継	
●委員	山田 隆	五十嵐 憲雄
	矢船 保夫	安藤 茂
	三品 章男	荒谷 信彦
	今川 和雄	三浦 義廣
	田村 英樹	佐藤 啓二
	八木橋 綱三	玄田 敏晃
	木賊 雄樹	

◎実行委員会

●委員長	松本 徹	
●副実行委員長	安藤 茂	三品 章男
	登山 一成	
●事務局長	三品 章男	
●事務局次長	田村 英樹	
●事務局委員	吉田 聡	渡部 美保
	藤村 紋子	
●委員	仙台 晃久	荒谷 信彦
	今川 和雄	三浦 義廣
	青木 拓也	木賊 雄樹
	小野 等	引地 良夫
	佐藤 啓二	岡田 圭司
	檜 修	金子 重敏
	北島 博孝	渡辺 広幸

◎開会式次第

日時／平成25年3月14日(木) 第1日目 17:00～

会場／ルスツリゾート(コンベンションホールNo.18)

1. 開式宣言 三浦義廣
2. 挨拶
1) 大会長 大会長
2) 実行委員長 松本 徹
3) 来賓 北海道知事 高橋はるみ様
加森観光株式会社常務取締役
ルスツ事業部長 安藤 茂 様
北海道議会議員 村田憲俊 様
実行委員会事務局長 三品章男
4. OS紹介 実行委員会事務局長 三品章男
5. 選手宣誓 林 一三、谷 麻衣子選手
6. 閉式宣言 三浦義廣

◎代表者会議

日時／平成24年3月14日(木) 第1日目 17:30～

会場／ルスツリゾート(コンベンションホールNo.18)

1. 開 会
2. 技術代表挨拶 技術代表 八木橋綱三
3. 競技役員・審判員紹介 競技委員長 木賊雄樹
4. 競技要領説明 競技委員長 木賊雄樹
5. 審判要領説明 統括審判長 玄田敏晃
6. 質疑応答 競技委員長 木賊雄樹
7. 閉 会

◎閉会式次第

日時／平成25年3月17日(日) 第4日目 16:00～

会場／ルスツリゾート(コンベンションホールNo.18)

1. 開式宣言 三浦義廣
2. 挨拶
1) 大会長 大会長
2) 実行委員長 松本 徹
3) 来賓 北海道知事 高橋はるみ様
加森観光株式会社常務取締役
ルスツ事業部長 安藤 茂 様
北海道議会議員 村田憲俊 様
3. 技術代表講評 技術代表 八木橋綱三
4. 成績発表 競技委員長 木賊雄樹
5. 表彰 大会長
6. 閉式宣言 三浦義廣

大会日程

3月13日 (水)

- 9:00 大会事務局一部開設 (ななかまど・みずなら)
15:00~17:00 マテリアルチェック (会場:アリーナ)

3月14日 (木) 第1日

- 9:00 大会事務局開設 (ななかまど・みずなら)
10:00~12:00 受付 (サウスフロント前)
11:00~12:00 コートオープン
《12:00~13:00 コートクローズ》
13:00~15:00 コートオープン
14:00~16:00 マテリアルチェック (会場:アリーナ)
16:30~18:00 リフト券販売 (コンベンションホールNo.18前)
17:00 開会式 (コンベンションホールNo.18)
17:30 代表者会議 (コンベンションホールNo.18)

3月15日 (金) 第2日

- リフト券・プログラム販売 8:30まで (ホルン)
7:30 リフト運航開始 公式掲示 (本部前・サウスフロント前・ホルン)
8:20 選手インスペクション開始
8:45 選手点呼開始
8:50 競技開始準備完了
9:00 予選競技開始
12:20 選手インスペクション開始
12:45 選手点呼開始
12:50 競技開始準備完了
13:00 予選競技再開
15:30 予選競技終了予定
16:30 代表者会議<競技終了後60分を目処開始> (会場:にれ・しらかば)
17:30 公式掲示 公式記録発表

3月16日 (土) 第3日

- 7:30 リフト運航開始 公式掲示
8:20 選手インスペクション開始
8:45 選手点呼開始
8:50 競技開始準備完了
9:00 予選競技開始
12:20 選手インスペクション開始
12:45 選手点呼開始
12:50 競技開始準備完了
13:00 予選競技再開
15:30 予選競技終了予定
16:30 代表者会議<競技終了後60分を目処開始> (会場:にれ・しらかば)
17:30 公式掲示 決勝進出者発表
公式記録 スタートリスト・ローテーション表 配布 (事務局:ななかまど・みずなら)

3月17日 (日) 第4日目

- 7:30 リフト運航開始 公式掲示
8:20 選手インスペクション開始
8:45 選手点呼開始
8:50 競技開始準備完了
9:00 決勝競技開始
10:20 選手インスペクション開始
10:45 選手点呼開始
10:50 競技開始準備完了
11:00 決勝競技開始
12:20 決勝競技終了予定
16:00 閉会式 (コンベンションホールNo.18)
17:00 公式掲示

競技規則

- ◎ 本大会の競技規則は、第10回全日本スノーボード技術選手権大会開催要項競技方法及び以下の競技規則による。

【公式用品用具の使用に関して】

- (1) 選手の公式用具・用品の使用については、全日本スノーボード技術選手権大会要領に準ずる。
- (2) 競技中は、マテリアルチェックの受けた用具を使用するものとし、スタート審判の確認を受けるものとする。

【ヘルメットの着用に関して】

- (1) 競技中は、ヘルメットを着用しなければならない。

【ビブの着用に関して】

- (1) インスペクション等でコートに入る場合は、必ずビブを外側に着用する事。

【スタートの要領に関して】

- (1) 選手は、各種目ともスタート地点に10分前に集合し、スタート審判の点呼を受け、応答しなければならない。
- (2) 選手は前者の出発後、直ちにスタート位置につき準備を整える。
- (3) 選手はスタート審判の合図により出発する。直ちに出发しない場合は、当該種目を棄権したものとみなす。

【フィニッシュの要領に関して】

- (1) フィニッシュは、コート下部の左右にある目印を結ぶフィニッシュラインの通過を持って演技終了とする。

【演技の中断等に関して】

- (1) 演技を中断した場合は、その位置で体制を整え再スタートする。中断が長引く場合は、統括審判長（審判長）の指示に従う。
- (2) 選手は係員の幫助を受ける事ができる
- (3) やむを得ず途中棄権をする場合は、その旨を係員に告げ、速やかにコート外に移動する。この場合は、当該種目の得点は0点とするが、次の種目からの出場権は維持される。

【コートインスペクションに関して】

- (1) コート設定後のインスペクションは、原則としてコート外から行なう。ただし、必要があるときは事前に告示・通告し、横滑りによりコート内に入り行うことがある。

【抗議に関して】

- (1) 抗議は監督又はコーチが書面を持って、セクレタリーに提出する。ただし、急を要する場合は、当該コートの統括審判長（審判長）に申し出る事ができる。（競技終了後5分以内）

【斜面の設定に関して】

- (1) 競技斜面はその条件を満たせる設定を行なう。
- (2) 種目の規制要領は、別途提示する。

【審判員・審判方法等に関して】

- (1) 競技種目の採点は、公開表示による5審判3採用で行なう。
- (2) 採点は、1審判100点満点とし、減点法により行なう。
- (3) 規定違反の減点は、審判団の中で協議する。

【班編成に関して】

- (1) 班編成は、予選・決勝ともビブ順にする。

【大会中の日程等の変更に関して】

- (1) 会期中、天候やその他の状況によって、実施方法コートを変更する事がある。その場合は、裁定委員会で決定する。

【広報・掲示等に関して】

- (1) 大会の成績及び変更内容は、公式掲示をする。

【順位の決定】

- (1) 予選
合計点で決定する
※同順位の場合は次の方法により決定する
① 4種目合計得点の高い者とする。
② 上記①で決しないときは、総合滑降フリーの得点の高い者とする。
③ 上記②で決しないときは、ミドルターン幅規制の得点の高い者とする。
④ 上記③で決しないときは、ミドルターン整地の得点の高い者とする。
⑤ 上記④で決しない時は、ショートターン整地の得点の高いものとする。
⑥ 上記で決しない場合は、同順位とする。
- (2) 決勝
合計点で決定する
※同順位の場合は次の方法により決定する
① 6種目合計得点の高い者とする。
② 上記①で決しないときは、決勝順位の高いものとする。
③ 上記②で決しないときは、決勝種目総合滑降フリーの得点の高い者とする。
④ 上記③で決しない時は、決勝種目ショートターン（不整地）の得点の高いものとする。
⑤ 上記で決しない場合は、くじ引きとする。

【その他】

- (1) 競技会中のすべての最終決定は、裁定委員会の決定による。



第10回全日本スノーボード技術選手権大会

開催要項

- 【主催】 財団法人 全日本スキー連盟
- 【主管】 公益財団法人 北海道スキー連盟
- 【後援】 北海道・留寿都村・加森観光株式会社・(公財)北海道スキー連盟支援企業会
- 【場所】 本 部・ルスツリゾートホテル・会 場・ウエストマウンテン
〒048-1711 虻田郡留寿都村字泉川 13 番地 Tel : 0136-46-3331 (大代表)
- 【実行委員会】 公益財団法人北海道スキー連盟・全日本スノーボード技術選手権大会実行委員会
〒062-0905 札幌市豊平区豊平5条11丁目1~1
北海道立総合体育センター内 Tel : 011-820-1780
スノーボード部 部長 田村英樹 携帯 090-3117-9435
- 【現地事務局】 第10回全日本スノーボード技術選手権大会実行委員会事務局
開設：2013年3月13日(水)・ルスツリゾートホテル内・Tel : 0136-46-3331
- 【競技本部】 ルスツリゾートホテル内・開設：2013年3月14日(木) Tel : 0136-46-3331
- 【大会日程】

日 程	時 間	内 容	場 所
3月14日(木) [第1日目]	10:00~12:00 11:00~12:00 13:00~15:00 17:00~18:00	受け付け コートオープン(午前)ピラミッド コートオープン(午後)ピラミッド 開会式	サウスフロント ウエストマウンテン 各種目コート コンベンションホール18 クレセントホール
3月15日(金) [第2日目]	9:00~12:00 13:00~15:00 17:00~	予選競技開始 ・ミドルターン(整地) ・ショートターン(整地) 予選競技成績発表	ウエストマウンテン 各種目コート 公式掲示板(サウス・ホルン)
3月16日(土) [第3日目]	9:00~12:00 13:00~15:00 17:00~	予選競技開始 ・ミドルターン(幅規制) ・総合滑降(ナチュラル) 予選競技成績発表	ウエストマウンテン 各種目コート 公式掲示板(サウス・ホルン)
3月17日(日) 決勝 [第4日目]	9:00~11:00 11:00~13:00 16:00~	決勝競技開始 ・ショートターン(不整地) ・総合滑降(ナチュラル) 成績発表・閉会式	ウエストマウンテン 各種目コート コンベンションホール18

*悪天候等で競技コートを変更することもあります。その場合は場内放送及び公式掲示板にて周知します。

*雪面状況により、スノーセメント及び硫酸を使用する事もあります。

【競技種目】

◆予選

- ・ミドルターン 総合斜面・整地
- ・ショートターン 中急または急斜面・整地

◆予選

- ・ミドルターン(幅規制) 総合斜面・ナチュラル
- ・総合滑降 総合斜面・ナチュラル

◆決勝

- ・ショートターン 中～急斜面・不整地
- ・総合滑降 総合斜面・ナチュラル

※天候及び斜面状況により、種目の内容及び順序を変更することもあります。
※使用斜面については、組織委員会が告知する大会要項でお知らせいたします。

【競技方法】

- ① 規制されたコートにおいて、種目内容の演技を競います。
- ② 第3日目決勝2種目出場で順位を決めます。
- ③ 予選は競技4種目とし5審3採用(上下カット)で2審判団がジャッジを行います。
班別および班中のローテーションを行います。
原則として女子班の競技を先に行います。
- ④ 順位の決定は、予選種目得点と決勝種目得点の合計点で決めます。
* 同順位タイの場合
 1. 決勝競技得点の高い者とする。
 2. 予選競技の得点の高い者とする。
 3. 決勝種目の総合滑降の得点の高い者とする。
 4. 上記で決しない時は、同順位とする。

【表彰】

総合得点により、各部門男女別に表彰します。

- ・フリースタイル部門・・・男女各10位
- ・アルペン部門・・・・・・男女各10位

【参加人数】

- 合計約450名
(予定目安として設定、増減あり)
- ・フリースタイル部門(18歳～) 300名
 - ・アルペン部門(18歳～) 150名

【参加資格】

参加者は、次の各号に掲げる項目を満たしていなければなりません。

(共通項目)

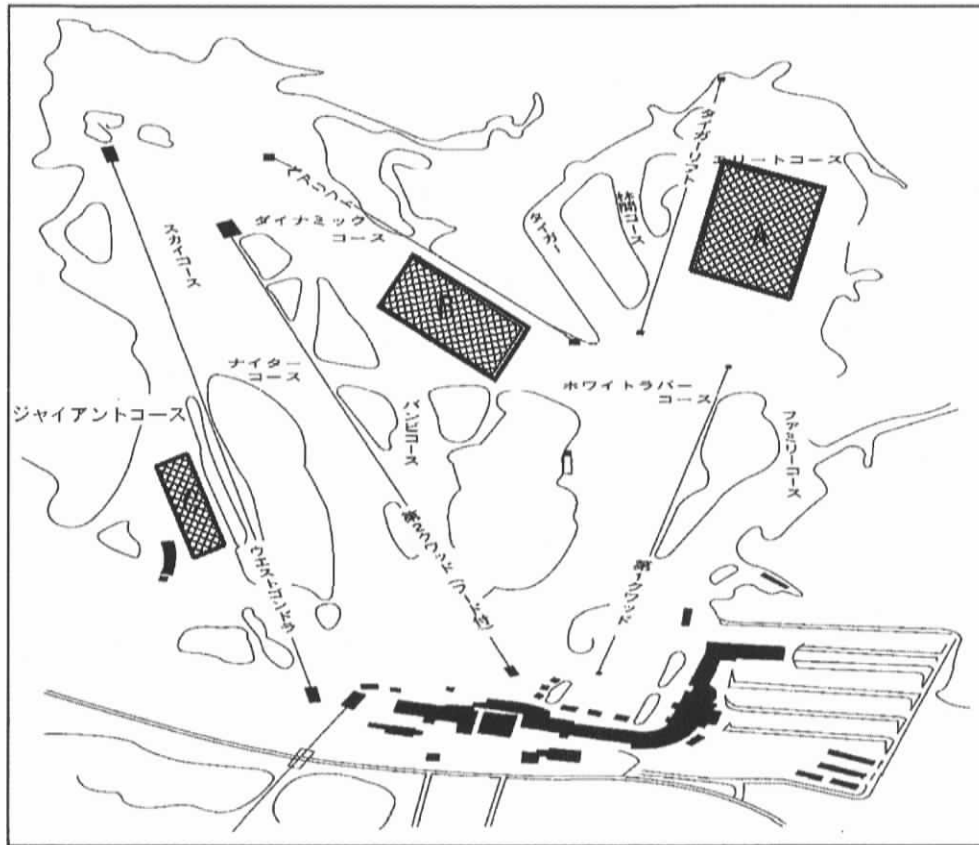
- ① 日本国籍を有する者。
- ② 当該年度の本連盟会員登録を完了している者。
- ③ 各保険会社の傷害保険に加入している者。
(未加入者は参加できません)
- ④ 参加者年齢は参加申込み時点で、下記の通り定める。
・18歳以上の者で、加盟団体の予選会開通し加盟団体長が推薦した者。
- ⑤ 本連盟スノーボードバジジテスト1級以上の認定を受けている者。
- ⑥ 全日本スキー連盟会長が認めた者。

第10回 全日本スノーボード技術選手権大会

競技役員表

	A コート	B コート
技術代表	八木橋 綱三	
競技委員長	木賊 雄樹	
セクレタリー	田村 英樹	
競技係長	岡田 圭司	小野 等
統括審判長	玄田 敏晃	
審判長	青木 拓也	野田 岳人
審判員	小池 光	高橋 一美
	斉藤 純一	櫻田 信之
	阿部 政一	後藤 大輔
	要 秀幸	森本 章敬
	志田 正継	大河原 直
スタート審判	能代 弘	森川 巧
点呼係	山田 幸男	高橋 政美
フィニッシュ審判	伊藤 剛太	光島 史芳
コース係長	浅野 謙司	成田 信幸
コース係	湊谷 敏治 関原 哲也 石川 裕司 地元連盟協力5名 指導員研修会参加者協力150名	熊谷 友夫 小松 秀俊 古野 雅章 地元連盟協力5名 指導員研修会参加者協力150名
計算係長	引地 良夫	
記録係	白馬システム(平林秀夫・小松秀敏・桜井峰久)	
医事主任	ルスツリゾート担当者	
安全対策係長	ルスツリゾート担当者	
放送係長	小島 準市	
MC	T E X	
放送設備係	ルスツリゾート担当者	
会場設備機材係	ルスツリゾート担当者	
SAJ総務	茂木 進	
現地総務主任	吉田 聡	
総務係長	北島 博孝	
庶務係長	金子 重敏	
報道係長	檜館 修	

第10回全日本スノーボード技術選手権大会コース図



予選第1日目(3月15日)

種目	コース
ミドルターン / 整地	ダイナミックコース B
ショートターン / 整地	エリートコース A

予選第2日目(3月16日)

種目	コース
総合滑走 / ナチュラル	ダイナミックコース B
ミドルターン規制 / ナチュラル	エリートコース A

お願い
ゲレンデでのマナーを守りましょう
ゲレンデ内は禁煙です。

喫煙は所定の場所のみです。

決 勝3日目(3月17日)

スノーボード振興部

種目	コース
ショートターン / 不整地	エリートコース A
総合滑走 / ナチュラル	ジャイアント C

第10回全日本スノーボード技術選手権大会



健闘を祈る

青木農場

〈ローテンション表〉

予選1日目(3月15日)

ダイナミックコース

エリートコース

ミドルターン／整地

ショートターン／整地

Between at beginning gem	Category	Bib No.
9:00	フリースタイル男子	1~147
13:00	アルペンスタイル女子	262~269・260~261
	フリースタイル女子	203~259・186~202
	アルペンスタイル男子	156~185・148~155

Between at beginning gem	Category	Bib No.
9:00	フリースタイル女子	186~259
	アルペンスタイル女子	260~269
	アルペンスタイル男子	148~185
13:00	フリースタイル男子	36~147・1~35

予選2日目(3月16日)

ダイナミックコース

エリートコース

総合滑降／ナチュラル

ミドルターン幅規制／ナチュラル

Between at beginning gem	Category	Bib No.
9:00	フリースタイル男子	72~147・1~71
13:00	アルペンスタイル女子	268~269・260~267
	フリースタイル女子	238~259・186~237
	アルペンスタイル男子	174~185・147~173

Between at beginning gem	Category	Bib No.
9:00	フリースタイル女子	221~259・186~220
	アルペンスタイル女子	265~269・260~264
	アルペンスタイル男子	165~185・148~164
13:00	フリースタイル男子	108~147・1~107

決勝(3月17日)

ジャイアントコース

エリートコース

総合滑降／ナチュラル

ショートターン／不整地

Between at beginning gem	Category	Bib No.
9:00	フリースタイル男子	
11:00	アルペンスタイル女子	
	フリースタイル女子	
	アルペンスタイル男子	

Between at beginning gem	Category	Bib No.
9:00	フリースタイル女子	
	アルペンスタイル女子	
	アルペンスタイル男子	
11:00	フリースタイル男子	

※競技開始時間は予定時間です。状況により変更する場合があります、

※変更事項は公式掲示版(ホルン・サウスフロント前・本部前)で確認してください。

〈エントリー数・比率内訳表〉

Category	フリースタイル		アルペンスタイル		合計
	女子	男子	女子	男子	
エントリー数	74	147	10	38	269
エントリー比率	28%	54%	4%	14%	